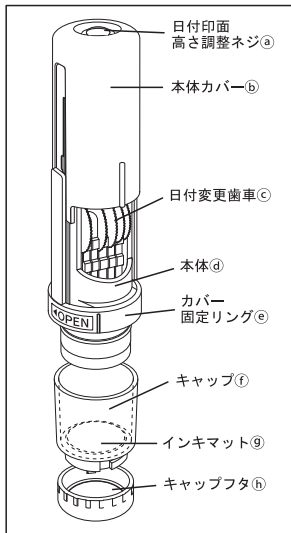


日付印浸透タイプ 取扱説明書

このたびは日付印浸透タイプをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用の際には、説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

1. 構造と各部の名称

図 1

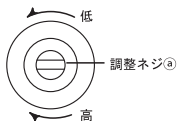


2. 日付の変更

- ①キャップを外します。
- ②カバー固定リング⑤を◀OPEN方向へ廻します。
- ③本体カバー⑥を引き出します。
- ④歯車を廻して、日付を合わせます。
- ⑤この時日付印面は、横一列になる様に並べてください。
- ⑥カバー固定リング⑤が◀OPEN側にあることを確認し本体カバー⑥をもどします。
- ⑦カバー固定リング⑤を◀OPENの逆方向に廻しカバーを固定します。

3. 日付の高さ調整

印面を見ながら高さ調整ネジ⑩をドライバー又は硬貨で調整します。(本体カバーがしまった状態で行ってください)



4. インキの補充

- ①キャップフタ⑧をキャップ⑦よりOPEN方向へまわし外します。
(キャップフタ表面に彫刻があります)

- ②注入口よりインキを2~3滴注入します。

印影の濃淡に関係なく1ヶ月に1回2~3滴程度補充してください。注入口から確実に染み込むのを確認してください。補充しすぎるとインキ漏れを起しますので注意してください。
日付が写らない時は、キャップインキマット面の印影の薄い所に直接1~2滴インキを滴下してください。



ご使用上の注意

- 補充インキは、パブリ(旧アスクルスピードプリントセンター) (<http://spc.askul.co.jp/>) にて販売している専用補充インキをご使用し、入れ過ぎない様にしてください。
- インキが浸透するまでに多少時間がかかります。
- 紙への捺印目的以外は使用しないでください。
- アート紙、コート紙などインキを吸収しにくい紙では乾きが遅くなる場合があります。
- 表面を薬品処理した紙(トレーシングペーパー)や目の粗い紙、にじみやすい紙などへの捺印はしないでください。
- 感熱紙や感圧紙への捺印は印影が変色したり、発色文字が消えたりしますのでご注意ください。
- 印面がゴミや紙粉などで目詰まりした時にはセロハンテープの粘着面を利用してお取りください。
- 日付けの位置が高すぎると日付けの位置が真っ直ぐに並ばなくなります。商品出荷時に調整してありますので必要以上に高く調整しないでください。
- ゴムの耐久性印面及び日付帯はスポンジ状のゴムで出来ておりますので捺印以外の異常な力(こすれ・引っ張り)を受けずと破壊を生じる可能性があります。
- インキが手についた場合は、早めに石鹸で洗ってください。
- 衣服等にインキが付くと落ちにくいのでご注意ください。
- 万一、目や口に入った場合は水で十分に洗い、医師の診断を受けてください。
- ご使用後は必ず印面キャップをして保管してください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。

製品に関するお問い合わせは・・・

アスクル株式会社

パブリお問い合わせセンター(旧アスクルスピードプリントセンター)

〒135-0061 東京都江東区豊洲3-2-3

TEL. フリーダイヤル 0120-345-913 受付時間: 午前9時~午後6時(日・祝日除く)

※携帯電話、PHS、050で始まるIP電話からは 03-6731-7896(通話料はおお客様ご負担となります)

※お電話の内容を正確に確認するため通話録音を行っております。